

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 156 号 ■

青森民医連学術運動交流集会



弘前薬局での学習会の様子

師による
「地域支援
体制加算算

村上薬剤
師による
「地域支援
体制加算算

感、自然
と気持ち
引き締め
ました。

ファルマ弘前
薬局小田切薬剤
師による「当薬
局における減薬
調査」では、減
薬にされた薬の
薬効分類・理由などを収
集・調査した内容でした。
処方内容について提案を
するために、薬の知識や
評価をする力、患者様との
継続的な対話が必要だと
感じます。

事例で成長

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 雪田 友莉恵

2月14日(日)
青森民医連学術
運動交流集会が
Zoomで開催
されました。ファ
ルマからは本部
の鈴木課長、ファ
ルマ弘前薬局の
小田切薬剤師と
村上薬剤師から
日々の取り組み
についてそれぞ
れ発表がありま
した。

気づきを大切に

ファルマ弘前薬局 工藤 由希子

連するものが多く、緊急
事態の中でそれぞれの職
場でのいろいろな工夫、取
り組みをしていることが
よくわかりました。
皆様の発表を視聴し感
じたことは、社会保障改
悪・介護保険改悪等で困
っている患者様やそのご家
族を見逃さず、多職種連
携をして解決に導くこと
が私たち民医連職員の役
割だということです。こ
れからも、「気づき」を大
切にして取り組んでいき
たいと感じました。

定に向けた取り組み」は、
2019年10月に地域支
援体制加算2取得にいた
るまでの報告でした。加
算の取得には、個々のノ
ルマや負担が強いられま
した。会社全体で取り組
まなければ成し遂げられ
ない高い壁でしたが、無
事目標を達成し、ファ
ルマの大きな自信と成果と
なりました。
その他、新型コロナウイルスに
関する事例や、認知症患者
に係る多職種連携、貧困・
無低診などさまざまな演
題がありました。民医連
の連携があるからこそ気
付いた社会的な困難事例
もありました。事例一つ
一つの中身が濃厚で、医
療人としてだけでなく人
間も成長させてくれます。
それが民医連のおもしろ
さにつながっていると感
じました。

活動や運動で日本をよくしたい

ファルマ弘前薬局 中西 茉莉

2月5日(金)に佛教
大学の岡崎祐司教授を講
師に制度教育オンライン
学習会がありました。
テーマは「分断・対立・
自己責任の全世代型社会
保障から連帯と人権の社
会保障へ」でした。岡崎
教授のお話は、とても分
かりやすく日本の課題が
わかりました。
講義の中で印象に残っ
たのは、高齢者に過酷な労
働を押し付けることです。
国が企業に70歳までの就
業機会を確保するよう求
めているのは、年金支給
開始年齢を引き上げるた
めです。また、高齢者の
医療費が2割に負担割合
を変えようとしているの
を知って、受診抑制が進
むのではないかと感しま
した。
また、貧困の割合も高
なり、年金の先延ばしもあ
る中で長生きすることの
不安が多くなるのかなと
感じました。民医連の
職員として、困っている

ついに核兵器禁止条約が発効

1月22日(金)に核兵
器禁止条約が発効され
たことをうけ、各職場で「核
兵器禁止条約発効日行動」
を行いました。

津軽保健生協のスタッ
フの方と一緒に、弁士や
スタンディングでアピ
ールしました。



五所川原診療所の方と一緒に



雪で大変な中に行いました



黒石診療所の方とアピール



津軽保健本部、組織部からも多くの方が来てくれました



患者様や車が行き交う通りでアピール



Zoomで各職場と学習会

人に手助けできるように
制度の勉強をし、たくさ
んの活動や運動で日本を
よくしていきたいという
気持ちが強くなりました。

8才のわたし

ファルマ弘前薬局 主任 須藤 江利加

あまり昔のことを振り返らないたちですが、あえて言うなら風変わりな子どもだったと思います。赤ちゃんの時もほとんど泣きわめくことがなかった為、手間のかからない子どもだったようです。※自分で言うのもおかしいですが。

とにかく一人でいることが好きだったので、友達とわいわい騒ぐというよりは、絵を描いたり、折り紙をしたり、粘土で遊んだりしていました。

そんな私ですが、当時ハマっていたのが時代劇です。必殺仕事人・遠山の金さん・水戸黄門・三匹が行く等々。(マニアックですみません) 子どもながらに、弱気を助け、悪をくじく様子が堪らなく好きでした。人としてどうあるべきか、私の人生感とは時代劇から学んだように思います。

そんな私ですが、小学校のことを思い出す上で、外せないエピソードがあります。それは「天然パーマ※自分の髪」との闘いの日々です。とにかく髪がちんちくりんだだったので、プールの授業がある夏は地獄でした。水泳の授業が終わった後は、髪の毛が爆発してしまう為、髪の毛をバンダナや三角巾などで隠していました。何も言わず、授業中もそれを許してくれた担任の先生には感謝しています。しかし、ちょっとした水がついただけでアダムちゃんになってしまう自分の髪



くるくるの髪の毛がかわいい須藤主任

が許せず、毎日少しずつ髪を抜いたりしたこともあり。なんと剥げてしまう前にやめることができて良かったです。今でも水がついたり汗をかいたりするとアダムちゃんが見え隠れしますので、ご興味のある方は私に水をおかけください。

地域のニーズにスピード感を もって対応していく

ファルマ弘前薬局 課長補佐 葛西 祐一

2月12日(金) 青森民医連主催で「コロナ禍の時代のSDHと民医連の可能性」というテーマで学習企画がありました。

今回の講演は、全日本民医連の増田剛会長のお話が聞けるということ、開催前からとても楽しみにしていました。本来であれば、青森に来ていただいで、生の声を聴ける予定でしたが、残念ながらコロナ禍のため、Zoomによるweb開催となっていました。

講演では、コロナ発生から1年経過した中での、医療情勢・社会情勢の変化や問題点を、第44期総会方針とリンクしながらお話を聴くことが出来ました。社会保障が新自由主義の流れで縮小されてきた中で新型コロナウイルス感染症が広がったため貧困と格差は広がる一方です。菅内閣は、全世代社会保障検討会議で「自助・共助」を進め、「公助」を弱体化し、「後期高齢者窓口2割負担化」など、社会保障

の解体を進めている中で、民医連に求められている住民と地域のニーズに対し、スピード感をもって対応していくことが、求められていると話されていました。



増田会長の話を真剣に聴くファルマ弘前薬局のみなさん

写真紹介

フレイル予防で健康寿命を延ばそう

2月18日(木)浪岡中央公民館で北畠長寿大学主催の出張出前講座が開催されました。ファルマ浪岡薬局の高橋薬局長とファルマ弘前薬局の須藤主任が、フレイル予防とフレイル体操について講義しました。参加者からは「非常にわかりやすかった」「今後も継続して運動したい」などの感想がありました。



みんなでフレイル体操

嫌がる子どもに薬を飲ませる方法

2月24日(水)コープあおもり和徳店でコープあおもり弘前地域主催の出張出前講座が開催され、ファルマ弘前薬局の村上薬剤師が「嫌がる子どもに薬を飲ませる方法」について話しました。参加者は17名で、「日常で使える内容でよかった」「とても参考になった」と好評でした。



お子様と一緒に参加してくれた方もいました

家庭でできるコロナ対策とワクチン

2月26日(金)追子野木会館で追子野木町会婦人会主催の出出張出前講座が開催されました。講師は、黒石薬局の大川薬局長で「家庭内感染予防の注意点」について講義しました。黒石市内で新型コロナウイルス感染症が広がったことを受け、注意点やワクチンに関する話など話しました。



大好評の講座でした

ヒバクシャ国際署名提出&新署名推進オンライン集会

2月5日(金)全日本民医連ヒバクシャ国際署名提出&新署名推進オンライン集会が開催されました。

核廃絶国際キャンペーン国際運営委員の川崎哲氏による「核兵器廃絶へのこれからの展望」をテーマとした学習講演や各地からの報告などがありました。



お昼に交代で参加しました

県連医学対大運動

2月25日(木)弘前大学医学部入学試験会場となった県立弘前高校前付近で青森民医連医学対大運動がありました。チラシ配布や対話アンケートは行わず、受験生応援の横断幕とプラ看板を掲げ、「頑張ってください!」と声掛けをしました。ファルマからはファルマ浪岡薬局の高橋薬局長とファルマ弘前薬局の葛西課長補佐が参加しました。



高橋薬局長と葛西課長補佐が参加しました

学生の皆さんと

3月6日(土)岩手医科大学「企業研究セミナー (WEB)」に本部の館田事務長、ファルマ弘前薬局小田桐由衣薬剤師、弘前調剤センター阿保主任が参加しました。

WEBでの開催でしたが、何名かの学生とお話することができました。



参加した学生と話が盛り上がりしました